

平成 30 年度 海外インターンシップ報告書

信州大学 人文学部 人文学科 3年

実習期間	平成 30 年 9 月 17 日(月) ~ 10 月 2 日(火) 14 日間
実習企業	ACA CONSULTING CO.,LTD
実習地	ミャンマー

1. 実習目的

Chapter1 purpose

- ・日本ではできない経験をし、外から日本をみることで視野を広げ、自分の枠組みを壊すため
- ・実習を通して、自分が将来働くにあたっての選択のてがかりを得るため
- ・現段階での自分の能力や位置を知り、今後の指標を立てるため

2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

長野県長野市に本社を構える株式会社エーシーエ設計のヤンゴン事務所である。ミャンマーへは 2013 年に進出し、建築設計、企画、コンサルティングに関する業務を行う。また、現地スタッフの育成にも取り組み、日本とミャンマーとのつなぐ役割を担う。

3. 実習日程

Chapter3 schedule

2018 年 9 月 17 日～10 月 2 日の 14 日間

4. 実習内容

Chapter4 laboratory

- ・営業指導、営業同行
- ・ティラワ SEZ や現場見学
- ・ヤンゴン市内の建物視察
- ・現地で働く日本人との面談
- ・ミャンマーについての調べ学習
- ・展示会とセミナーの準備、運営サポート

5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

今回のミャンマーでの実習の中で、日本で普段生活していたら味わうことのできないたくさん経験をした。ミャンマーは発展途上国であり、私が滞在したヤンゴンはその中では都市であるが、そうはいつでも豊かできれいだといえない部分もあった。また、ミャンマー人に囲まれて、言葉によるコミュニケーションがはかりにくい中で生活をするということで、まずはその環境の中で 2 週間生活をしたこと、楽しめたということが一つ自分の自信につながっている。初日には抵抗を感じていたことも途中からは意識をしなくなるのを体感し、慣れすなわち適応力の強さを感じた。また、同じアジアの中では

あるが、異文化体験、異文化交流の機会であった。例えば、ロンジーという巻きスカートのようなものにサンダルスタイルや、日本にない味付けの料理、パゴダでお祈りする様子から日常の中の仏教を感じたりなどだ。外を歩けば、道で食材やお料理を売る人々や、どこで入手したのか分からないようなアイテムを売る人や、日中から輪になって話している男性たちなどが目に入る。道路を走る日本の中古車のタクシーと鳴りやまなクラクションも初めは驚いた。その土地ごとに文化があり、単民族国家の日本で過ごしていると、“普通”が違うことに気づけなかったが、日本の外に出ることで、別の視点から見たり、比較したりすることを知った。

日本に対して思うこととしては、自分を含めた日本人は日本自身に関する知識不足がある。ミャンマーは成長途中であり、経済や政治の動向で国が大きく左右されるし、変化が目に見えるからこそ、現地の日本人はニュースに注目している。一方、日本は既に豊かさを得ているからなのかあまり意識していないように感じられる。外国と日本の関わりを歴史から見ることも世界を舞台とする場合必要な視点である。

文化が違っていても、人と人とはコミュニケーションをとることができる。困っていたら、言葉が通じなくても助けてくれる。実習先で働くミャンマー人スタッフとはお互いの言語を教え合い笑いあえる関係であり、このつながりを大事にしたいし、来日した際には支えになりたいと思っている。

また、インターン生として社会人と同じ日程で仕事をし、実際に働く大人と話す中で、働くということも以前より想像しやすくなった。重要視したい点や長期的な選択のてがかりも得られ、自分のキャリア設計が一步進んだといえる。建築業界についても、自分の専門外の分野を知るきっかけになり、今まで触れたことのないおもしろさの発見になった。

生活の中での細かな発見や空気感など、実際に自分自身が経験したからわかることがあるのだと思う。





6. 今後の課題

Chapter6 problem

- ・日本のことはもちろん、海外のことなど幅広くアンテナをはり、情報収集を続けていく
- ・事前準備や時間に余裕を持った行動など、社会人として仕事をする際に基礎となることを今一度意識しなおして生活する
- ・英語を聞くだけでなく自分から積極的に使っていく。文法や単語の問題でなく、コミュニケーションをとる回数と時間を重ねる
- ・自分の強みとなるような専門的な知識を備える
- ・自分が経験したことを、他人に伝えていく

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

なぜ海外インターンに興味を持ち、何のために参加したいと考えていますか？それが、日本では得られないもの、ただの海外旅行では得られないものであるのなら海外インターンはとても良いと思います。お金や時間の問題や不安もあると思いますが、その分得られるものもたくさんありますし、何より大学生のうちに、刺激のある環境に行ってみるのは楽しいしたくさんの発見があると思います。

8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

このような経験をさせていただけたことを本当にうれしく思います。
受け入れてくださったエーシーエ設計さんはもちろん、この機会をつくり、支えてくださった方々すべてに感謝したいと思っております。
これからも日々精進してまいります、ありがとうございました。